

防火協会だより

編集・発行 津市防火協会
津市久居明神町2276番地
津市消防本部庁舎内
電話・FAX 059-256-4222

防火管理オンライン講習スタート 今年度4回実施、第1回講習には60人受講



オンライン講習の画像をチェックする消防職員



▲甲種・乙種防火管理講習（7月4・5日）



▲防災管理新規講習（7月6日）

津市消防本部では、防火・防災管理等講習に関して、今年度から従来の会場で受講する講習に加え、受講者がインターネットに接続しているパソコン等を利用し、オンラインで受講する甲種・乙種講習を開催しています。

甲種は8時間、乙種は5時間の科目を受講していただきます。乙種の方に受講終了後に修了証が郵送されます。甲種の方は、別途実施される2時間程の実技講習を受講していただき修了証を交付します。

今回のWEB申込みには津市の新しい受付フォームを使用しており、会員事業所の方のための受講証

明書がファイル添付できますので、当協会のホームページから事前にダウンロードして準備しておき、申込時に添付すれば会員料金で受講できます。

再講習、甲種・乙種講習、防災新規講習を開催

7月3日、甲種防火管理再講習・防災管理再講習（受講者38人）、7月4・5日に甲種・乙種防火管理講習（同89人）をメッセウイング・みえで、7月6日には消防本部で防災管理新規講習（同17人）を開催しました。当協会会員の34人にはそれぞれの講習に応じて、1人につき2,500円または2,000円の助成を行いました。

令和5年度 今後の甲種・乙種オンライン講習の案内

区分	オンライン受講期間	実技講習日(甲種のみ)	定員	申込期間
第2回	10月2日(月) ～10月15日(日)	10月19日(木)	各区分共に、 甲種・乙種 合わせて 100人程度	9月11日(月) ～9月14日(木)
第3回	10月30日(月) ～11月12日(日)	11月15日(水)		10月10日(火) ～10月13日(金)
第4回 (令和6年)	2月2日(金) ～2月15日(木)	2月20日(火)		1月15日(月) ～1月18日(木)

●津市ホームページ防火管理講習QRコード



●津市防火協会ホームページQRコード



●実技講習スケジュール 会場:メッセウイング・みえ

区分	受付	講習時間
各区分共通	13時00分～13時25分	13時25分から15時30分

●受講料

津市防火協会会員 1,500円(一般5,000円)

※会員事業所受講証明書が必要です。
当協会ホームページからダウンロードしてください。

令和5年度 役員会・定期総会を開催

オンライン講習に係る予算を可決

令和5年4月25日(火)に役員会を、5月24日(水)には定期総会を開催しました。役員会では15人が、定期総会では30人が出席しました。令和4年度事業結果、決算が承認され、令和5年度事業計画(案)、予算(案)が審議可決されました。

中村会長はあいさつで「防火をはじめ安全安心の街づくりには、行政や個人の努力だけではなく、津市に所在し、津市にゆかりをもつ事業所の役割も非常に大きなものがある。消防機関とより一層の連携、協力体制を保ちながら、精力的に活動していきたい。」と意欲を述べ、協力をよびかけていました。

議事では、令和5年度事業計画(案)として、防火・防災管理等講習として集合型に加え、甲種・乙種講習については、初めてオンライン型で4回開催



▲5月24日の定期総会の様子(県総合文化センター)

することを事務局から予算(案)とともに提案しました。オンライン化等に係る運営費の増加に伴い、受講料は5,000円に値上げされますが、会員事業所にはこれまでと同じ1,500円で受講できるように助成費の増額を併せて提案し、共に可決いただきました。

前期危険物取扱者試験予備講習会に31人。試験の申請も忘れずに。



◀5月10日の危険物取扱者試験予備講習会(県総合文化センター)

5月10日(水)に令和5年度前期危険物取扱者試験予備講習会(乙種4類)を県総合文化センターで開催し、31人が受講しました。受講者は1か月後の試験に備え、関係法令に関する講義や例題に取り組んでいました。受講者のうち17人には、1人につき3,000円を助成しました。

令和5年度後期の危険物取扱者試験予備講習会は、右表のとおり10月4日(水)に実施します。申込みは当協会のホームページからWEB申込みのみとなります。受講料助成に必要な会員事業所受講証明書の添付もフォーム内で可能です。

なお、予備講習会のみ申込みを行い、危険物取扱者試験の受験申請を行っていない方が見えますの

で、必ず危険物取扱者試験の受験申請を済ませてから、予備講習会を申し込んでください。

令和5年度後期 危険物取扱者試験予備講習会 受講申込みはインターネットで

10月4日(水) 8:45~16:45(定員50人程度)
申込期間:9月4日(月)9:00~9月22日(金)17:00
会場:三重県総合文化センター
生涯学習センター4階 中研修室
受講料:当協会会員4,000円(一般7,000円)
※詳しくは、津市防火協会ホームページでご確認ください。

試験の申請も忘れなく
試験は11月4・5日

危険物ポスター配付や危険物安全大会

危険安全週間(今年は6月4日~10日)を前に、当協会では会員事業所にカーリング選手のポスターを配付しました。今年度の危険物安全週間推進標語は「意志つなぐ 連携プレーで事故防ぐ」です。

6月8日(木)、三重県危険物安全大会が鈴鹿市で開催され、県内から183人の参加があり、当協会からは6事業所6人が参加しました。安全講習では消防大学校消防研究センターの西氏による「危険物施設における火災・漏洩事故事例と安全対策」と題した講演などがありました。



住宅用火災警報器、設置してありますか？点検してありますか？

平成20年6月から全ての住宅において住宅用火災警報器の設置が義務化されております。また、古くなると電池切れや機器の故障等で正常に機能しなくなることがあるため、設置してから10年を経過したものは取り替えをお願いします。

ではどこに設置すればよいのか、皆さんご存知でしょうか。必ず設置が必要な場所は「寝室」です。また、寝室が2階、3階にある場合は、「寝室がある階の階段上部の天井、又は壁」に取付けが必要です。そして設置するのは「煙式」ですのでご注意ください。

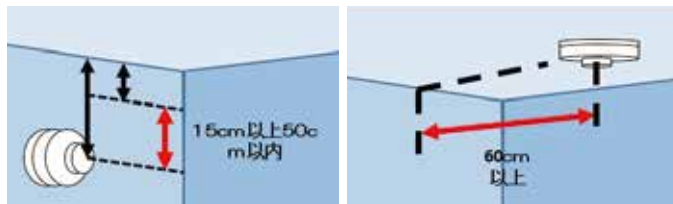
取付け位置については例1、例2をご確認ください。

【例1】壁に取付ける場合

住宅用火災警報器の中心を天井から15～50cmの範囲内に設置します。

【例2】天井に取付ける場合

住宅用火災警報器の中心を壁から60cm以上離します。(熱式は40cm以上)



▲例1 壁取付けの場合

▲例2 天井取付けの場合

今年の梅雨、線状降水帯が多発。梅雨明け後、危険な猛暑。

梅雨前線が列島に長期停滞し、豪雨に

今年の梅雨入りは平年より早く、その後梅雨前線は、長期にわたり列島付近に停滞し、その影響で各地に豪雨等による被害を及ぼしました。

6月2日には台風2号の影響で前線が活発となり、発達した雨雲が連なって発生することで大雨をもたらす線状降水帯が、高知から静岡の7県で11回も発生し、河川の氾濫や、冠水、土砂崩れが相次ぎ、死者7人を出しました。

7月4日、九州南部で梅雨前線に暖かく湿った空気が流れ込み、線状降水帯が2回発生、7月10日には、九州北部で8回も発生し、土石流などで死者が出ました。その後も、大気が不安定な状態が続き、各地で突然の激しい豪雨と雷、突風、ひょうが発生し、冠水、土砂災害などで一連の人的被害は14人となっています。



さらに7月15日から秋田では記録的な大雨となり、15の河川が氾濫したほか、河川から排水路を泥水が逆流し、内水氾濫（後述）も相俟って広範囲の住宅が浸水しました。専門家は、地球温暖化によって下層の空気が温められたり、海水温が高くなっていることが、これら局地的な大雨をもたらす原因の一つとしています。

梅雨が明けると、列島は災害級の猛暑に

7月20日頃から東海を皮切りに全国で梅雨が明けると、一転して各地で猛暑となり、災害級の暑さが続き、連日、全国各地で、熱中症警戒アラートが発令されるなどしています。**①室内をエアコンなどで涼しく、②こまめな水分補給、③屋外での活動は休憩をとる、**など、熱中症に厳重に警戒してください。

津市の内水ハザードマップ公開

6月から7月にかけては、この地域にも豪雨はあったものの、大きな被害には至っていませんが、過去には集中豪雨や大雨で、側溝や排水路、下水道で排出できなかった雨水が、道路などに溢れてしまう内水氾濫が、海拔の低い所などで発生しています。

こうしたことに伴い、津市ではこの3月末に初めて内水ハザードマップをホームページで公開しました。想定最大規模降雨として、平成16年9月26日に津市の豪雨の時間雨量（午前11時から9時8分）を、さらに130mmに引き延ばした降雨でのシミュレーションが行われています。皆さんも一度検索し、参考にしてみてください。ただ浸水深区分は洪水マップと同じであるため、できれば、時間降水量50mmのとき何センチ浸水する所が、100mmのときはどうなるかなど、きめ細かく図示されるとより分かりやすいので、今後の改善に期待したいと思います。



▲津市の内水ハザードマップ

テレビ等の情報で、豪雨の襲来、浸水が予測される場合、特に高齢者の方は安全なうちに、早めに避難するようにしましょう。また事業所等では、従業員を早めに帰宅させるなどの対策を検討することも必要でしょう。

ポンプ場や排水路の整備が進められてはいますが、ポンプを強力にしても、排水路の形状・流量や傾斜等で排水できる量には限界もあるそうです。また津市や他市では、雨水貯留タンク設置補助金などの制度を行っていますが、このほか都市部で取り組まれている大規模な雨水貯留施設や雨水バイパス管の整備も大いに期待したいです。

津市消防音楽隊、令和7年の創立50周年に向けて

津市消防音楽隊は、昭和50年12月に「市民の皆様と消防を結ぶ音の架け橋」として創立され、音楽を通じて防火・防災の広報活動に長年にわたって貢献してきました。近年、財政等の状況で都市部の消防でさえも、存続が危ぶまれ、また休止のやむなきに至った音楽隊も多い状況です。



▲創立当初の消防出初式での演奏

その中、当音楽隊員の熱意と関係各位のご協力もあり、県下消防では消防職員が主体で活動する唯一の音楽隊であることを誇りとしています。

現在、隊員は28人で、全員が現役の消防士です。日々の業務の合間を縫っての練習や活動は時間が限られていますが、消防職員としての経験や知識、そして

防火・防災への熱い思いを音楽に乗せ、市民の皆様にも伝わるような演奏、広報活動に心掛けています。

さらに、令和元年からは三重大学吹奏楽団の皆様を学生機能別団員として迎え入れ、その若い力と演奏技術が加わったことで、津市の防火・防災を担う部隊として益々活気のある音楽隊になってきています。

当音楽隊は令和7年に創立50周年を迎えます。

現在、市民の皆様楽しんでいただけるような記念行事を計画中です。どうぞご期待ください。

今後も、市民の皆様にかかせない存在となるように、当音楽隊は発展を止めません。



▲現在の消防音楽隊の演奏状況

新型コロナいつの間にか第9波に突入。XBB系統が主流

5類移行後も、コロナ感染力は衰えず

昨年11月から今年3月までのコロナ第8波では、その4か月間だけで全国の感染者類計が1116万人、同死者累計が27,250人と、コロナ禍3年余の間（5月8日まで）の累計のほぼ3分の1を占める結果となりました。

3月13日にマスク着用が個人の判断になるとともに、感染者数は減少に転じるかに見えましたが、4月以降は微増を続けました。また4月29日から日本への入国者の水際対策が撤廃され、多くの外国人が入国するようになりました。

そして、5月8日から新型コロナの感染上の位置づけが、季節性インフルエンザなどと同じ5類に位置づけられ、これまで毎日、医療機関や自治体が全ての感染者数を報告し公表する「全数把握」から、季節性インフルエンザと同じ全国約5,000の指定医療機関が1週間分の感染者数を報告する「定点把握」に変更されました。5月8日、全数把握として最後となる新規感染者数は9,310人でした。

その後5月19日に、5月14日までの1週間の1医療機関あたりの全国平均の患者数は2.63人と公表され、また、5月14日までの1週間に全国約5,000の医療機関から報告された患者数は、合わせて12,922人でした。

これまでとは違い、感染の規模がよくわからない発表となり、人々の行動も活発となる中、感染者数はその後も、増加傾向が続きました。

7月28日の公表では、7月23日までの1週間の1医療機関あたりの全国平均の患者数は13.91人で、5月19日公表の2.63人の5.29倍となりました。

また7月23日までの1週間に5,000の医療機関から報告された患者数は合わせて68,601人でした。

前の週から増加が続くのは16週連続となり、定点把握で集計し直した第8波ピーク時の29,800人には及びませんが、既に第9波になっているものといえます。

現在主流となって検出されるのはオミクロン株のうちの「XBB系統」で、ワクチン抗体や、発症で得た抗体が効かなくなる「免疫逃避」が起こる可能性が指摘されています。

厚生労働省は、感染した後の療養期間の目安として、発症翌日から5日間の外出を控えることを推奨しています。また乳幼児の感染症では、ヘルパンギーナ（発熱、喉に痛い水ぶくれ）、RSウイルス（発熱や鼻水、咳）が急増しています。皆さんも体調を崩さないよう、手洗い、うがい、換気など、基本的な感染対策に取り組みましょう。

5類移行後も、コロナ感染力は衰えず

5類移行後、無料でのワクチン接種は今年度も継続されますが、医療費や検査費用は一般的に3割の自己負担となります。ある高齢者が外来診療でPCR検査をして陽性と分かり、初診料（感染対策加算等）、検査料、処方箋等、3割負担で5,000円ほど支払いました。さらに院外薬局で、感染症経口治療薬（ラゲブリオカプセル）5日分は約10万円と高額ですが公費負担と説明され無料となりました。症状によって異なりますが解熱剤、咳止め剤等を処方された場合は、1,000円程度となるようです。

金額も気になる場所ですが、周囲に感染を広げないためにも、具合が悪いと感じたら、まずはしっかりと検査をし、早めの治療を心掛けましょう。